

特定非営利法人 HSE リスク・シーキューブ

19年度通常総会議事録

- 1 日 時 平成20年6月21日(土) 15時30分～17時
- 2 場 所 茨城県那珂郡東海村舟石川821 東海村合同庁舎 303会議室
- 3 出席者数 12名、委任状提出4名(5月31日時点での正会員数21名)
<出席者名>谷口、土屋、佐藤、清水、小宮山、寺西、酒井、池田、服部、村上、中村、
恵利(以上、正会員)、大堀(賛助会員)

4 議長および議事録署名人について

- ・谷口武俊が議長として議事進行を行った。
- ・議事録署名人として、佐藤隆雄と土屋智子が議長より指名された。

5 審議事項

(1) 第1号議案 19年度事業活動報告

19年度事業活動報告(案)の内容の説明が行われた。昨年は防災訓練が村内でおこなわれなかったため、事業計画と比較して、訓練への参加のみ実施されなかったことが報告された。会員より、「視察参加者の範囲」について質問が出された。定款に従って、東海村支部では、正会員と活動会員が視察に参加できるとしているが、活動を伝えるためにも対象を広げるべき、との意見が出されたため、東海村支部定例会で議論することになった。事業報告案は、誤字を修正することで、全員異議なく承認された。

(2) 第2号議案 19年度収支決算報告

19年度収支決算報告(案)の内容が説明された。なお、監事の山口彰からの報告を土屋より代理報告した。決算内容が審議され、今年度も法人税額の高さについての質問が出され、土屋よりNPO法人に対する租税システムについて説明を行った。決算報告は、一部の誤字を修正することで、全員異議なく承認された。

(3) 第3・4号議案 20年度事業活動計画および予算案

20年度事業活動計画(案)と予算案が審議された。他地域との交流会を「リスクコミュニケーション活動の計画支援・実施支援」に位置付け、新しい視点を取り入れるという観点から今後活動の柱として進めることが理事会報告として紹介された。一般論として交流会には賛成するが、多様な団体があつて選定が難しいので、東海村支部の「中立・透明・市民の目から率直に意見を述べる」という活動に役立つ交流会が望ましいとの意見が出された。土屋理事より、交流会に先立って活動内容や方針を伝えるなどステップを踏んで進めることを約束した。活動計画に交流会の経費を加えることで、予算案も含めて承認された。

(4) その他

東海村からの委託事業の内容が紹介され、公民館講座の説明文、意見交換会の参加者範囲などについて意見が出された。これらの意見に留意して、事業に取り組むことになった。また、理事会で議論になった広報誌をより広範囲に配布する方法について、様々な意見が出された。もう少し印刷部数を増やし、東海村支部メンバーで配布の努力をすることになった。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議事録署名人が次に署名押印する。

平成 20 年 6 月 30 日

代表理事 谷口 武俊



副代表理事 佐藤 隆雄



副代表理事 土屋 智子



この写しは議事録の原本と相違ないことを証明する。

平成 20 年 6 月 30 日

名称 特定非営利活動法人 HSE リスク・シーキューブ

東京都世田谷区経堂 1-27-9 経堂シティハウス 401

代表理事 谷 口 武 俊

